

事務事業	54	文化・観光施策の推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	01	地域文化活動の活性化					
事業内容							
目的	新宿のまちの魅力を高め、発信していくことで、新たに文化・観光という視点から地域の活性化を促進します。						
対象・手段	地域文化発掘：区民の地域への愛着を深めるため、区民自らによる文化資源発掘を促進します。 文化・観光ルートの整備：観光資源の発掘、地域・産業のブランド化を促すことにより産業振興を図るとともに、観光情報を積極的に発信します。また、安心して観光を楽しめるように、案内標識を設置します。 文化・観光施策推進体制の整備：文化・観光施策の推進のため、区と関係機関の協働体制を整備します。						
成果(事業が意図する成果)							
<p>区民が自分のまちの様々な文化資源を知ることにより、まちへの愛着と誇りを育みます。 区民は、まちへの愛着と誇りを持って、まちづくりに関わり行動する中から、新たなまちの文化が生まれます。このような連鎖が新宿のまちの魅力と理解を深め、これまで以上に多くの人々を新宿区に引き付けることとなります。</p>							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
地域文化の登録件数	地域文化の登録件数	(平成19)年度に (200件)の水準達成					
観光案内標識設置数	観光案内標識の設置数	(平成18)年度に (10基)の水準達成					
観光パンフレット(日本語版)配布数	パンフレット配布数	()年度に (30000枚)の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	登録件数	0.00	0.00	200.00	200.00	
	実績1	登録件数	0.00	0.00	80.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	40.00	0.00	
	目標値2	基	0.00	0.00	5.00	10.00	
	実績2	基	0.00	0.00	3.00	15.00	
	= /	%	0.00	0.00	60.00	150.00	
	目標値3	枚	0.00	0.00	0.00	30,000.00	
	実績3	枚	0.00	0.00	0.00	32,015.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	106.72	
事業の実施内容							
平成17年度	<p>地域文化の発掘：区民に募集を行い、まちの歴史・文化を発掘し、情報の提供を受けました。 文化・観光ルートの整備：観光パンフレット作成、地域イベント等の情報発信掲示板の設置、イベントの開催、観光案内標識の設置等により、観光情報等を発信し、観光客を誘致する事業を実施しました。 文化・観光施策推進体制の整備：庁内組織を整備し、推進体制について関係機関との検討を始めました。</p>						
平成18年度	<p>対象を歴史・文化資源等から地域のお宝へと広げて地域文化の発掘を進めました。また、観光パンフレット・モバイルサイトや観光案内標識により広く情報発信するとともに、地域ブランドのコンセプトイメージ確立を図りました。更に、文化観光関連団体と、文化・観光施策の推進体制について意見を交換しました。</p>						

部名称		地域文化部		課名称		文化国際課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	9,297	22,664	
	人件費	千円	0	0	11,673	11,592	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	20,970	34,256	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	20,970	34,256	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	18,996	16,406	
	特定財源		0	0	1,974	17,850	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	90.59	47.89	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	1.40	1.40	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>地域文化の発掘：区民からの情報について、既知の文化資源に関するものが少なくなかったため、新たな発掘を促進する取組みが必要です。文化・観光ルートの整備：地域・産業のブランド化を促すためには、新宿区の持つ多様性という魅力を損なわないような方法を検討し、個々のプロダクト（商品）ブランドの品質管理等を徹底させるなど、リスクマネジメントを指導・強化できるような体制づくりを促すことが必要です。文化・観光施策推進体制の整備：文化・観光施策を推進するために総合的に推進できる組織のあり方の検討が必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	地域文化の発掘については、寄せられた情報が十分ではありませんでしたが、観光パンフレット、観光案内標識については計画数を上回る配布、設置を実施するなど、全体として計画どおり進行しています。				
	効率性	2	区民や地域主体との協働体制等により、区民からの情報を有効に事業に活用したり、4つの事業を1人の職員で行うなど、効率的に事業を実施しました。				
	実施の成果	2	観光パンフレット、モバイルサイトや案内標識板の利用頻度は高く、また、区民から「地域のお宝」の情報提供等も200件あり、事業実施の成果が現れています。				
	行政の関与	3	地域文化情報を効果的に共有化したり、知名度の低い観光資源を周知するためには、区の関与は必要です。また、文化観光施策を効果的・効率的に推進するためには、区民、地域団体、事業者、区等新宿区全体で推進する必要があります。				
	妥当性	3	区民の地域への愛着や誇りを育む施策や、より多くの人々が新宿区を訪れるようになることを目指した施策を推進することは、地域を活性化するためには、不可欠であると言えます。				
	施策寄与度	3	区民の地域への愛着や誇りを育むとともに、より多くの人々が新宿区を訪れるようになることを目指した事業は、地域の活性化を促進するものであり、施策目的達成に必要なと言えます。				
総合評価	地域文化の発掘、文化・観光ルートの整備及び文化・観光施策推進体制の整備の各事業とも、概ね順調に進みました。漱石プロジェクトや文化施策連絡会などの庁内横断的な組織の活用や地域、事業者等との協働の体制により、効果的・効率的に事業を推進していきます。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 15年度 14年度
改革方針							方向性
	地域の文化・観光資源を発掘し、価値を高め、発信するなどの各事業について、事業を連携させて効率的・効果的に実施するとともに、個々の事業についても更なるレベルアップを行うことで、事業効果を高めていきます。						1 現状のまま継続